

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 経鼻下垂体手術におけるアプローチ方法の違いが鼻症状・嗅覚機能および鼻中隔穿孔に与える影響
	●研究の対象 2019年1月1日～2025年12月31日の期間に、浜松医科大学医学部附属病院で経鼻内視鏡下下垂体手術を受けた方
	●研究の目的 経鼻内視鏡下下垂体手術の後に、まれに鼻中隔穿孔（鼻の隔たりに穴があく状態）や鼻症状（鼻閉・鼻汁・嗅覚の低下など）が問題になることがあります。 本研究では、当院で手術を受けた方の診療録等の情報を用いて、耳鼻咽喉科が手術に介入した場合に、鼻中隔穿孔や術後の鼻症状がどのように変化するかを明らかにし、今後のより安全な手術と術後ケアの改善につなげることを目的とします。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日から2029年12月31日まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 この研究では外部へ試料・情報を提供しません。

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

<p>《利用し、又は提供する試料・情報の項目》</p>	<p>●研究に使用する試料・情報 情報：性別、喫煙歴（有無）、慢性副鼻腔炎の既往（有無）、アレルギー性鼻炎の有無、鼻手術歴（有無）、手術日 など 試料：使用しません</p>
<p>《利用する者の範囲》</p>	<p>●機関名および責任者名 研究機関： 浜松医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座 加納 康太郎</p>
<p>《外国にある者に対する試料・情報の提供》</p>	<p>この研究では外国にある者へ試料・情報を提供しないため、該当しません。</p>
<p>《試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称》</p>	<p>国立大学法人浜松医科大学</p>
<p>《試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）》</p>	<p>あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下《問い合わせ先》をご確認ください。</p>
<p>《資料の入手または閲覧》</p>	<p>この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。</p>
<p>《情報の開示》</p>	<p>あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。 また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

	は、原則的に結果を開示いたしません。
《問い合わせ先》	〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学 部署名： 耳鼻咽喉科 担当者： 加納康太郎 TEL： 053-435-2111